

英語を使って😊先生方を紹介しよう😊

10月7日(金)、英語科の前大えり先生が授業を公開しました(3年5組)。本時は、今年度、新しく赴任された先生を、Joel先生に紹介するために、選んだ情報や自分の考えを整理しながら、**簡単な語句や文を用いて書くこと**が目的です。

本時は、**えり先生の発問や指示が簡潔明瞭で、生徒がリズムカルに動いて活動している様子**がよく見えました。また、初めて学習する関係代名詞にも関わらず、えり先生の説明がとっても分かりやすく、生徒はすぐに理解すると、関係代名詞 who を活用し、身振り手振りを使いながら、ペアになって一生懸命伝え合っていました **(すべての生徒が Output する場面設定)**。

分からない単語があるとすぐに辞書を引いたり、えり先生が机間指導で補ったりする姿も Very Nice !

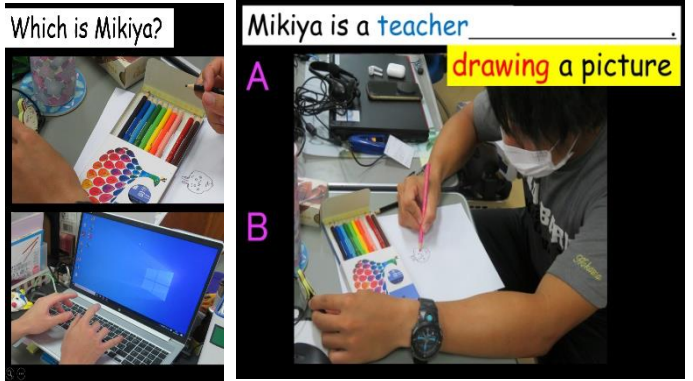


英語科で検討していただきたいのは、本時のねらいに迫る「まとまりのある文」とは、何をもって「まとまりがある」というのか、同じ表現を使わずに、自然な表現を書くことが「まとまりがある」のか、話題にさせていただくと嬉しいです。 Thanks Eri T(m_m)

視点	②	(自己評価)	A	B	C	D
			She・He is a ~ who ~ という文が出来る。 =れを何回も言わたりよにするためには、she is だけでなく相手に伝わるので短かく言うようにする。			

Sさんの振り返り【相手に分かりやすく伝えるためには】

① 魅力的な課題の提示 (どっちが担任?)

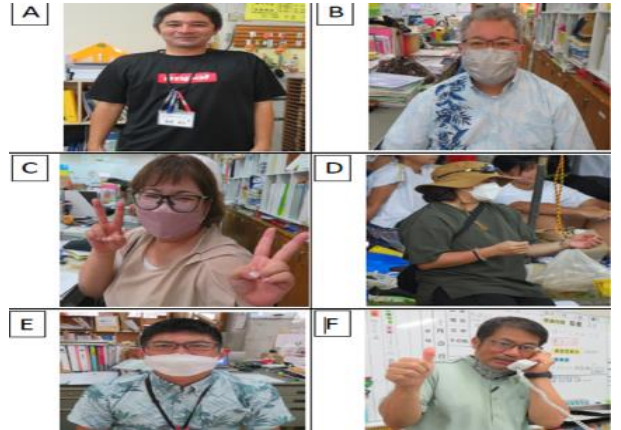


② インタラクティブな対話による「めあて」の設定

新しく赴任した南風原中の先生を、情報や考えを整理しながら、Joel先生に紹介することができる。



③対話活動の充実(Let's Try a speaking activity!)



④視点を与え新たな問いを生み出す場面(ふりかえり)

振り返りの視点

- ・関係代名詞whoを用いることでできるようになったこと
- ・紹介文を書くときに、工夫したこと

図1 本時の授業×問いサポ

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方

外国語で表現し伝え合うため、外国語やその背景にある文化を、社会や世界、他者との関わりに着目して捉え、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、再構築すること。

図2 問いサポートP.32 (外国語科における「問い」を生かした授業)